



# 小鯖小学校だより 2月号

令和4年 2月 1日  
山口市立小鯖小学校

【学校教育目標】 確かな学力と豊かな心をもち、たくましく生き抜く小鯖っ子の育成

【めざす子ども像】 困：思いやりのある子 区：さわやか元気な子 ば：ばっちり学ぶ子

## 第49回竹馬大会を開催しました！

校長 高田 修司

去る1月25日（火）に、第49回竹馬大会を開催しました。



お天気にも恵まれ、多くの方々に子どもたちの笑顔と頑張る姿をご参観いただきました。



竹馬づくりや乗り方の指導、修繕など、小鯖豊寿会をはじめ、保護者や地域の方々からいただいたご支援とご協力に心より感謝申し上げます。



来年度は第50回の記念大会になりますので、土曜日開催とし、保護者や地域の皆さんも競技に参加できるイベントにしたいと思っています！



## コロナ対応(危機管理)は覚悟を決める

年明けから山口県においても、オミクロン株を中心としたコロナ陽性者が急増するなど相変わらずのコロナ禍です。

本校は3密を防ぎやすい小規模校という利点もあり、何とか多くの教育活動を実施、実践することができていますが、何より保護者の方々をはじめ、地域の方々、教育委員会、行政機関の方々のご支援やご理解があつてのことだと大変感謝しております。

ちなみに皆さんは、「危機管理のさ・し・す・せ・そ」という言葉を聞いたことがありますか？



危機に対して「さ；最悪を想定し、し；慎重に、す；素早く、せ；誠意をもって、そ；組織で対応する」ことが大切だ、という教え（教訓？）のことで。

コロナ対応もまさに危機管理ですが、最悪を「想定し」であつて、最悪を「恐れて」しまうと冷静な判断力を失います。

「慎重に」であつて、「とにかくやらない」という思考停止状態に陥ってもいけません。

危機の時にこそ、現状を正しく受け止め、広い視野で冷静に分析し、必要なことと不要なことを見極め、「自分で自分の心を決める」覚悟がいるぞ？！と私は考えています。

今後も自らを客観視する自戒に努めながら、教職員一同何とか工夫を凝らし、皆さんからいただいた絆と組織の力で、この難局を乗り切りたいと考えています。

今後とも本校教育への変わらぬご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。